

“幸せな帰町”復興・再生への道のり



遠藤町長

平成28年第2回広野町議会定例会が6月9日、10日、2日間の会期で開催されました。その中で遠藤町長より第1回定例会（3月開催）以降の町政経過報告が行われました。

一般質問を経て、議案審議がなされ、すべての議案が可決されました。

町民の皆さんにお伝えしたいことがたくさん盛り込まれていますので、主な内容の抜粋を掲載します。

総務課

3月22日、「土地改良区総代総選挙当選証書附与式」を行い、大和田高男広野町選挙管理委員長が、当選者に当選証書を付与しました。新しい総代は32人で、任期は平成28年3月23日から平成32年3月22日までです。4月28日、広野町公民館大会議室において、行政区長会議を開催しました。本年度の各課重点事業などの説明を行い、行政区長より事前にいただいた質問・要望に対して、回答を作成し配布しました。



行政区長会議

5月20日から22日の3日間、いわき市内の応急仮設住宅集会所や広野町公民館を会場に住民説明会を開催しました。説明会では、「生活再建支援について」「義

援金配分事業について」「応急仮設住宅供与期間終了に伴う対応について」などを住民の皆さんに説明しました。

復興企画課

3月13日、広野町中央体育館において、広野町制施行75周年を記念して「NHKのど自慢」が開催されました。当日は、特別に童謡コーナーが設けられ、広野小学校の2年生が「とんぼのめがね」と「ふるさと」を歌い、広野町の魅力を全国にPRするとともに、東日本大震災および原子力災害からの復興を全国に発信することができました。

3月26日、JR常磐線広野駅東側を核とした新しいまちづくりとしての産業団地内に、テナントビル「広野みらいオフィス」が完成し、その竣工式が行われました。オフィスビルの誕生は雇用の場の確保や地域経済の活性化を図り、双葉地域における復興の拠点としての役割を果たすことにより、世界が注目する福島・浜



NHKのど自慢で合唱する広野小の子どもたち

本町の人口減少に歯止めをかけ、住みよい環境を確保し、将来にわたって活力ある社会を維持するため、産官学金労言との連携を視野に入れた取り組みが重要であることから、4月25日にあぶくま信用金庫と6月2日いわき信用組合と地域経済の活性化および住民サービス向上の実現に向けて、相互に連携・協力を強化する協定を締結しました。

幸せな帰町・復興への取り組みとしては、3月28日に内堀福島県知事、4月27日に石井国土交通大臣に対し、いわき市長と双葉郡8町村長の合同でJR常磐線全線の早期復旧と特急列車の運行再開および常磐自動車道全区間の早期4車線化を要望しました。

5月11日には、復興状況視察で来町された額賀自由民主党東日本大震災復興加速化本部長に対し、町の現状を説明し、広野町議会議長と連名で、現在抱えている課題に対する支援を要望しました。

6月1日には、復興庁高木大臣と東京電力ホールディングス株式会社廣瀬社長に対して広野町議会と町の合同での要望活動を行いました。復興庁では、国の復興に資するさまざまな支援と被災者の生活再建に対する継続的な支援などについて要望を行いました。東京電力ホールディングス株式会社では、福島第一原子力発電所などの安全対策の徹底と着実な廃炉、適時適切な情報提供をはじめ、確

町民保健課

実かつ実情に即した原子力損害賠償への対応、石炭ガスタ化複合発電（IGCC）設備の建設促進、Jヴィレッジの早期再開および関連企業の事業所や住居の町内設置について要望を行いました。

長引く避難生活により様々なストレスに起因する健康被害が心配されることから、4月4日、保健師および看護師による健康相談や健康教室を内容とする健康サロンを開催しました。応急仮設住宅5カ所、町内集会所1カ所、各施設10人から20人参加のもと、毎月2回開催し、高齢者が生きがいを持って日々を送れるよう相談や指導に努めます。4月12日、就学前の児童と保護者を対象とした教室「げんキッズ」が、児童8人、保護者8人の参加のもと、年22回の開催予定で始まり

ました。子ども同士の関わり合いから社会性を育み、保護者同士の情報交換から、子育てに対する悩みを

福祉介護課

5月17日、運動不足の解消を図り、心身ともに健康で楽しく健やかな生活を送るため、保健センターや仮設住宅集会所などにおいて、スポーツインストラクターが運動指導を行う「元気アップ教室」を始めました。各施設の合計、年間72回開催しますので、たくさんの皆さんにご参加いただきたいと考えています。



元気アップ教室

解消し、たくましく元気な子供の育成につなげていきます。

福祉介護課

高齢者を対象とした手足などのマッサージケアを行う「寄り添いサポート事業」には、2月22日から3月末日までに、延べ人数で約300人にご参加いただ

3月30日には特別養護老人ホーム「リリー園」が再開されました。当面24人の受け入れでの再開となりますが、当地域の福祉再生の一助となるものと考えていきます。



入所者と言葉を交わす町長（友愛会事業所）

4月4日には、保育所の入所式および児童館の入館式を挙行しました。保育所には昨年より6人少ない17人の児童が入所しました。また、児童館へは昨年より28人多い、77人の児童が入館しました。子どもたちの健やかな成長のため、より一層体制の充実を図ります。

4月21日には、富岡町から群馬県高崎市に避難していた社会福祉法人友愛会の新設事業所の落成式が東町地内で行われました。

環境防災課

4月27日には、広野町社会福祉協議会および広野町日赤奉仕団の皆さまの暖かい出迎えの中、入所者が5年におよぶ高崎市での避難を終えて本施設に入所され、5月1日より事業が再開されました。本町においては初めての大型障がい者施設の設置であり、町民の皆さまの障がい者に対する正しい理解の啓発に努めていきます。

4月6日から15日までの10日間、「春の全国交通安全運動」期間中、双葉警察署および富岡地区交通安全協会広野分会のご協力をいただきながら、朝の通勤通学時間帯に交通事故防止およびあいさつ運動を展開しました。また、4月11日、5月9日には広野町安心・安全ネットワーク会議の会員による街頭指導を広野駅前で行いました。今後も毎月1回交通・防犯の立しよう活動を実施していきます。交通安全運動期間中の4